

# 伝統工芸品等のデザイン・商品化に関する研究

－漆製品の価値向上研究－

(第1報)

Development study of the traditional works which adopted design awareness

- Study to improve rank of the Tsugaru-nuri product - (Part 1)

小松 勇、小野 大輔、鳴海 藍

本研究は、青森県の伝統工芸である津軽塗の価値向上を目的としている。津軽塗の販売減少の要因のひとつである住空間の変化に注目し、平成27年度から28年度にかけて「現代生活空間における漆の配色に関する研究」を実施した。27年度は配色や空間を構成する形状を調査し視覚化した資料にまとめ、アンケート結果などを参考に製品化アイテム構想を作成した。また、28年度は視覚化した資料から抽出した配色をもとに漆塗手板を制作した。

本報では前年度作成した製品化アイテム構想と顧客層のニーズにギャップはないかを商品企画支援ツール「V-Cup」を用いて整理し、第3者にインタビューにて検証した。その結果をもとに6種を試作したまでを報告する。

「V-Cup」ではモダン家屋で使用する漆器を想定し、ターゲットイメージ、使用するシーン、家族構成、好みの配色、志向などを整理した。これを用いて第3者の専門家(建築士・インテリアコーディネーター・販売者)によるインタビュー調査を3回実施した。インタビューは、より詳細に意見を得るため前回の課題結果を踏まえながら3Dプリンタを活用したモックアップや漆塗手板、素地を提示しながら実施した。

結果、モダン家屋の顧客(写真例)に対して材質やサイズに参考意見を得、製品の形状・配色、そしてターゲット像を「こだわりのある本物志向」と確定し新配色の漆製品試作を行った。

次年度は試作品も合わせて研究データを資料にまとめ、漆器業界に対し講習会にて技術普及し製品化を促す。また、展示会等で完成した製品のテストマーケティングを実施する予定である。

例).

